

オンラインシステム NACSIS-CAT ニュースレター

学術情報センター〔〒112-8640 東京都文京区大塚3-29-1〕

目録情報課

図書目録情報係	TEL:03(3942)6983, 6984	FAX:03(3944)7131
雑誌目録情報係	TEL:03(3942)6985, 6986	FAX: 同上
相互協力係	TEL:03(3942)6987, 6988	FAX: 同上
共同利用課	TEL:03(3942)6933, 6934	FAX:03(3942)6797
システム管理課	TEL:043(285)4914, 4915	FAX:043(290)1380

目 次

1. 目録システムにおける中国語, 韓国・朝鮮語等の資料の扱い	2
2. 平成10年度新CAT/ILLシステム説明会の開催報告	4
3. 学術情報センターのクライアント(体験版)公開	5
4. 連載:新システム対応クライアント紹介(その2)	6
5. 連載:目録所在情報サービスホームページ紹介(その2)	10
6. NACSIS-ILL利用統計(その2)	13
7. 複写データ処理センター業務報告(平成10年度上半期)	14
8. コーディングマニュアル第6章, 第12章の刊行	15
9. 会議開催報告	16
10. レコード調整	17
(付) 中国語資料の取扱い(案)	
(付) コーディングマニュアル	

本誌は, 次のホームページの目録担当者のページでも公開しています
<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>

目録システムにおける中国語，韓国・朝鮮語等の資料の扱い

・目録システムの多言語対応に向けて

目録システム（NACSIS-CAT）では，従来，中国語，韓国・朝鮮語等の資料については，簡体字やハングルのように，目録システムで扱えない文字があったため，暫定的な入力方法を示し，具体的な入力については各参加機関の判断に委ねてきました。そのために中国語，韓国・朝鮮語等の資料の登録が積極的には行われていませんでしたが，最近国際的に文字の規格が定められ，ようやく目録データの登録環境が整いつつあります。

一方，新たな通信プロトコル CATP を用いた新 CAT/ILL システムは，各参加機関及び各システムベンダーの積極的な対応のおかげで順調に移行が進んでいます。この新システムの上で，さらに今後中国語，韓国・朝鮮語等の資料を取り扱えるようになります。

目録システムの多言語対応についての基本的な考え方は，以下のとおりです。

- (1) 簡体字やハングル等を扱うために，UCS(Universal multiple-octet coded Character Set : 国際符号化文字集合) に対応したシステム及びデータベースを構築する。
- (2) 現在暫定的に入力されているデータも，新システムで利用できるようにする。
- (3) 新規に入力する作業を効率的にするため，参照 MARC として，中国語に対しては CHINA-MARC，韓国・朝鮮語に対しては KOR-MARC の導入を予定する。
- (4) 各言語への対応の優先順位は，蔵書数によって決定する。したがって，まず中国語に対応し（平成 12 年から），その結果を踏まえて，韓国・朝鮮語に対応する。

以下に，第一段階である中国語資料への対応の進捗状況と今後の予定を報告します。

・中国語資料への対応

平成 7 年度に「中国語資料データベース化検討ワーキンググループ」を設置し，中国語資料の取扱いについて，主に目録データの記録方法の面から検討を行ってきました。今回，その検討結果が，「中国語資料の取扱い（案）」（以下「検討案」という）としてまとめられました。

この「検討案」に対し，各参加機関からの御意見を伺い，最終的に「目録情報の基準」「コーディングマニュアル」の改訂に反映させる予定です。

また，平成 12 年 1 月から目録システムを中国語資料に対応させるために，システム面での準備も進めています。

1. 「検討案」の概略（「検討案」は本号付録にあります）

「検討案」は，「基本方針」，「目録情報の基準」の変更点，「中国語資料用コーディングマニュアル」から構成されています。

「基本方針」では，(1) 中国語資料について適用する目録規則は原則として「日本目録規則 1987 年版改訂版」とし，必要に応じて「中国文献編目規則」を適用すること，(2) 記述部分に関しては，転記の原則に従い，書かれたままの字体で記録すること，(3) 漢字の単語単位での検索を可能とするため，日本語ヨミの付与を必須とし，ピンインは，日本語ヨミとは別に記録することができること，(4) 古籍については，別ファイルを設定することはないが，入力規則を別に作成する予定であること，(5) 既存中国語資料データは，現在入力されている文字を

そのまま UCS に変換して、総合目録データベースに格納すること、の 5 点をうたっています。

「目録情報の基準」の変更点では、上記の基本方針を具体的に運用していくに当たって、従来の「基準」にどのように反映させるかを示したものです。特に「中国語資料のヨミの表記及び分かち書き規則」は、これまでこのような形でまとめたものはないため、実作業を行う際に必須のものといえます。(ただし、この規則は、ヨミや分かちの標準化が目的ではなく、あくまで、検索のための便宜的な規則であることに留意してください。) また、「特殊文字・記号」では、UCS に収録された記号のうち、JIS X 0208:1997 にあるもののみを使用することとし、従来の EXC 文字に含まれていた「合成開始」等の記号は使用しないこととしています。

「中国語資料用コーディングマニュアル」は、基本的なフィールド項目についてのみ今回の作業対象としました。「基準」の確定後、残った項目についての検討を継続する予定です。

2. システム面での準備

平成 11 年末にセンターの電子計算機の機種更新が予定されていますので、その機に目録所在情報データベース(総合目録データベース、参照ファイル)の文字コードとして UCS を採用することを計画しています。その時点までに予定している事項を、以下に列記します。

(1) UCS 対応漢字インデックス作成

このインデックスは、UCS の漢字(約 2 万字)を用いて記述されたデータの中から、求めるデータを効率的に探し出すために必要なツールです。データの検索・登録に使用できるようサーバに組み込まれます。

(2) 「その他のヨミ」フィールドの新設

ピンインを日本語ヨミとは別に記録するために、「その他のヨミ」フィールドを新設します。

(3) CHINA-MARC の導入

中国語資料の総合目録データベースへの効率的な入力を支援するため、参照 MARC として CHINA-MARC を導入し、サービス開始時から提供します。併せて、総合目録データベースに既に登録されているデータのうち、ISBN 等による同定で CHINA-MARC のデータと入替が可能なものについて、入替を行います。

(4) データベースの UCS 変換

総合目録データベース及び参照ファイルの文字コードを、UCS コードに変換します。これによってサーバ側は UCS コードとなりますが、参加機関側のクライアントの環境を考慮し、サーバからデータを出す際にクライアントの使用文字コードに変換する処理を組み込み、従来と同様のデータ表示を保証します。

「検討案」への御意見をお寄せください。御意見はメール又は FAX でお願いします。

送付先 : 学術情報センター事業部目録情報課
E-mail : chwg@op.nacsis.ac.jp
FAX : 03(3944)7131

(図書目録情報係)

平成 10 年度新 CAT/ILL システム説明会の開催報告

本誌前号（64号）でお知らせしていましたが新 CAT/ILL システムに関する説明会を，下記の日程で開催しました。

地区名	開催日	会場
北海道地区	平成 10 年 11 月 10 日（火）	北海道大学
東北地区	平成 10 年 11 月 19 日（木）	東北大学
関東・甲信越地区	平成 10 年 11 月 24 日（火）, 25 日（水）	東京医科歯科大学
中部地区	平成 10 年 12 月 1 日（火）	名古屋大学
関西地区	平成 10 年 11 月 17 日（火）	京都大学
中国・四国地区	平成 10 年 11 月 10 日（火）	広島大学
九州・沖縄地区	平成 10 年 11 月 17 日（火）	九州大学

説明会では，小冊子「はじめての新 CAT/ILL」を使った新システムの概要説明と新システムへの移行手順の説明，新 CAT/ILL 対応システム開発メーカー資料の配布を行いました。さらに今回は，学術情報センターで開発した新 CAT クライアント及び新 ILL クライアントのデモンストレーションを行いました。

全国 7 会場で合計約 1,100 名の参加があり，各図書館での新システム移行の検討を実際に進めていくための材料を，皆様に提示できたものと思います。

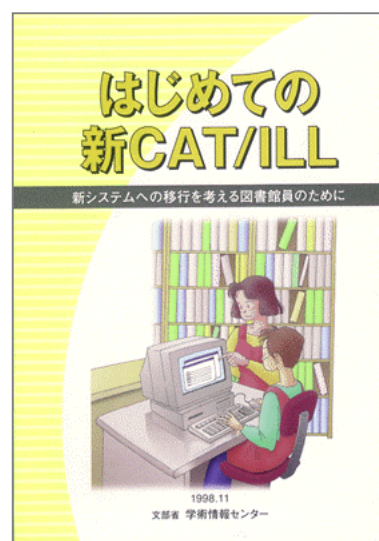
会場を手配していただいた大学関係者の方々，また資料を提供いただいたメーカーの方々には，この場を借りてお礼申し上げます。

なお，今回の説明会で配布した資料の入手を希望なされる場合は，図書目録情報係まで FAX でお申し出ください。

「はじめての新 CAT/ILL」 4

PDF 形式のものを以下の URL に掲載しています。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/index.html>



（図書目録情報係）

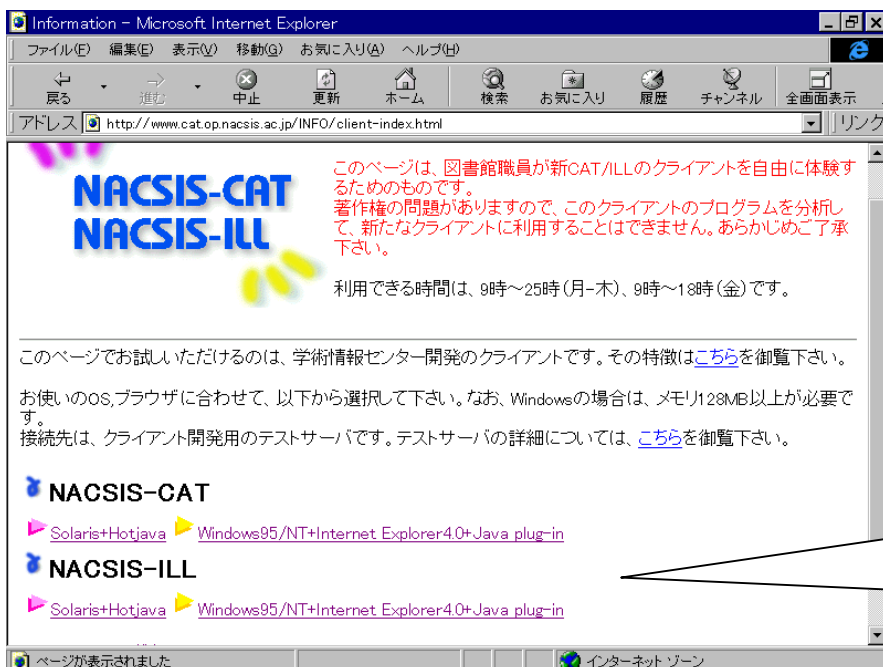
学術情報センターのクライアント（体験版）公開

新 CAT/ILL システム説明会でデモンストレーションを行った、学術情報センターの新 CAT クライアント及び新 ILL クライアント（体験版）を公開しています。このクライアントは、学術情報センターでの講習会及びデモンストレーション用に開発したものですので、各図書館の実業務にお使いいただけるものではありませんが、多くの方々に新クライアントを体験していただくために公開することとしました。

利用にあたっては、特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。OS が Solaris であれば Hotjava, Windows であれば Internet Explorer 4.0 上で動作します。以下の URL から利用できます。

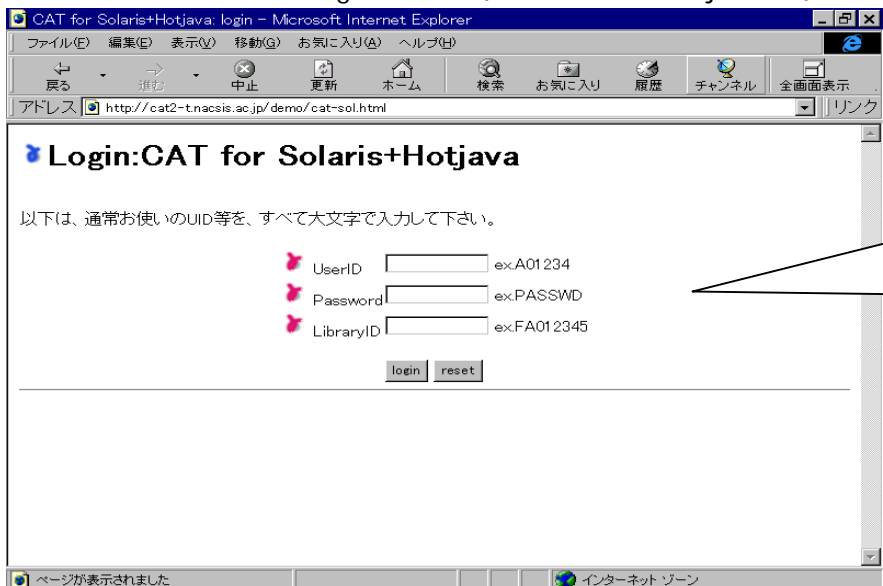
URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/client-index.html>

1. 目次ページ



お使いの OS, ブラウザによって、選択して下さい。Java plug-in ダウンロードページへのリンクもあります。

2. 新 CAT クライアント login ページ（例：Solaris+Hotjava 用）



現在お使いになっている利用者番号、パスワード、参加組織 ID をすべて大文字で入力してください。

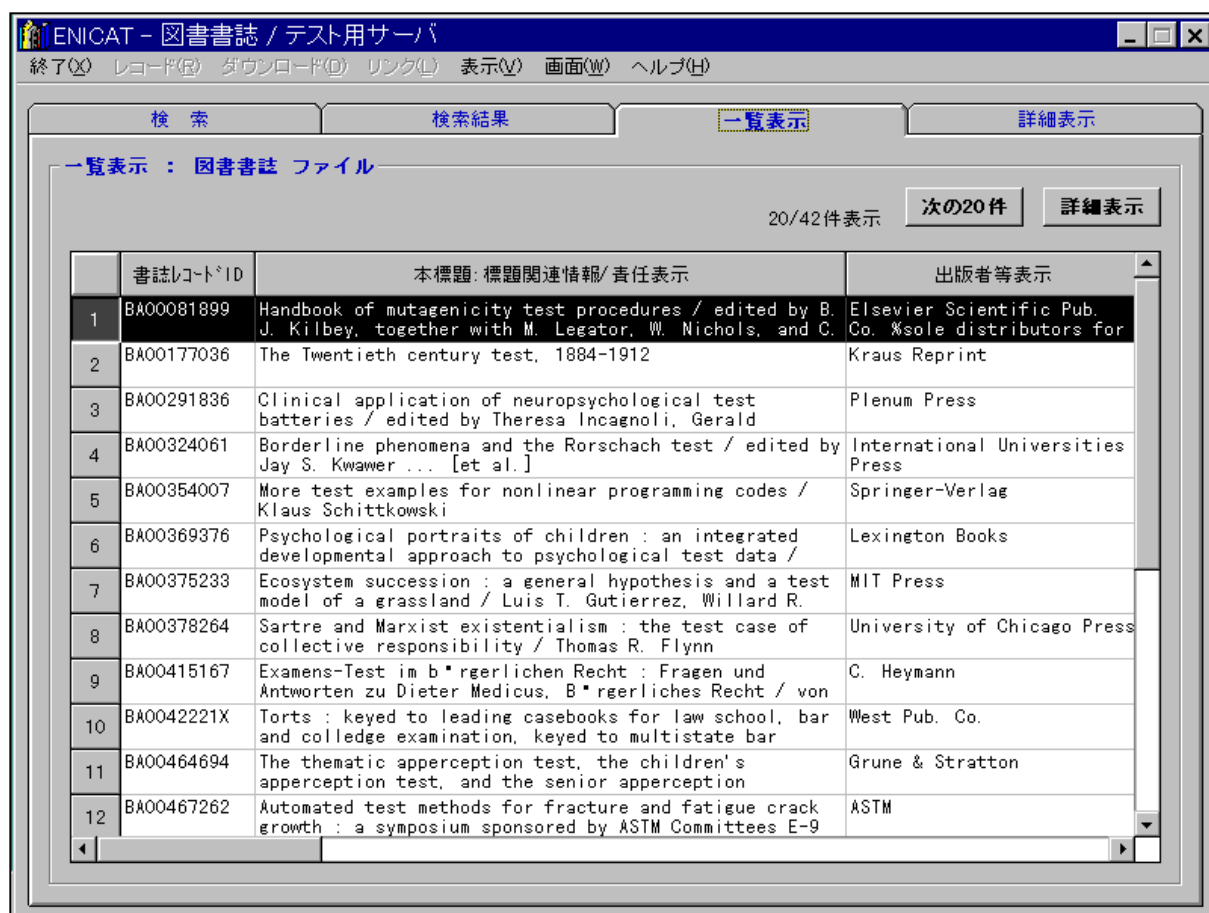
（図書目録情報係）

新システム対応クライアント紹介（その2）

第2回目である本号では、新日鉄情報通信システム株式会社の「ENICAT/ILL」と(株)日立製作所の「LOOKS21」を紹介します。

1. ENICAT/ILL

- (1) クライアント名称：ENICAT/ILL
- (2) 開発：新日鉄情報通信システム株式会社（ENICOM）
- (3) クライアントの種類：総合クライアント
- (4) 動作環境：Windows95
- (5) 運用開始：CAT（平成10年4月）ILL（平成10年10月）
- (6) 利用図書館（業務利用を開始している館）：大分県立看護科学大学ほか
- (7) 画面例(CAT)：



(8) 特徴 (CAT)：

検索結果を集合として5つまで保存する。各検索結果を利用する際（絞り込みなど）、各検索の検索条件も一覧できる。

レコードの修正・登録において、各フィールドの入力レベル（必須かどうか）が表示される（画面レイアウトについては大幅に改訂予定）。

コード類の入力が、ポップアップとキーボード入力の両方で行える。

タグクリックで、検索画面 検索結果（各検索結果の集合について、件数と検索条件を表示） 一覧表示 詳細表示を行き来できる。

(9) 画面例 (ILL):

ENICAT - 雑誌複写依頼(受付館設定)

終了(X) 設定(S) 所蔵館情報(M) ヘルプ(H)

雑誌レコードID: AN00384511 標準番号: ISSN=03890333

雑誌事項: 季刊民族学 / 国立民族学博物館

再検索

参加組織 配置コード 地域・県

巻号 9(2) 年月次 受入継続表示

設置者種別 機関種別 ILL参加種別 A

複写サービス A C 貸借サービス FAXサービス

サービス状態 A 料金相殺グループ **絞り込み**

	参加組織ID	略称	配置コード	年月次	巻号等	請求記号
1	FA000150	明学大横浜	@	1985-1989	9-13	
2	FA001277	北教大	@	1981-1986	5-10	
3	FA001652	筑大	中央	1980-1990	4-5, 6(1, 3-4), 7-13, 14(1)	
4	FA001754	千大	文社会	1984-1989	8-13	
5	FA001980	茶女大	教育	1982-1989	6(2-4), 7-13	
6	FA002087	新大	人人類	1980-1991	4(2-4), 5-15	
7	FA002087	新大	図	1982-1991	6(2-4), 7-15	
8	FA002112	上教大	@	1985-1989	9-13	

↓ ↑

	参加組織ID	略称	配置コード	年月次	巻号等	請求記号
1	FA009224	民博	@	1977-1989	1-13	
2	FA007615	京精大	@	1985-1989	9-14	
3						
4						
5						

(10) 特徴 (ILL):

従来の、「目録検索 ILL レコード作成」の流れと異なり、「ILL レコード作成 各項目を埋める形で目録を参照」の流れになっている。

データの更新は、先に実行したいコマンドを選択してから行う。入力レベルとともにフィールドを表示するためである。

状態別のレコード件数一覧を、処理画面とは別に独立して表示させることもできる。

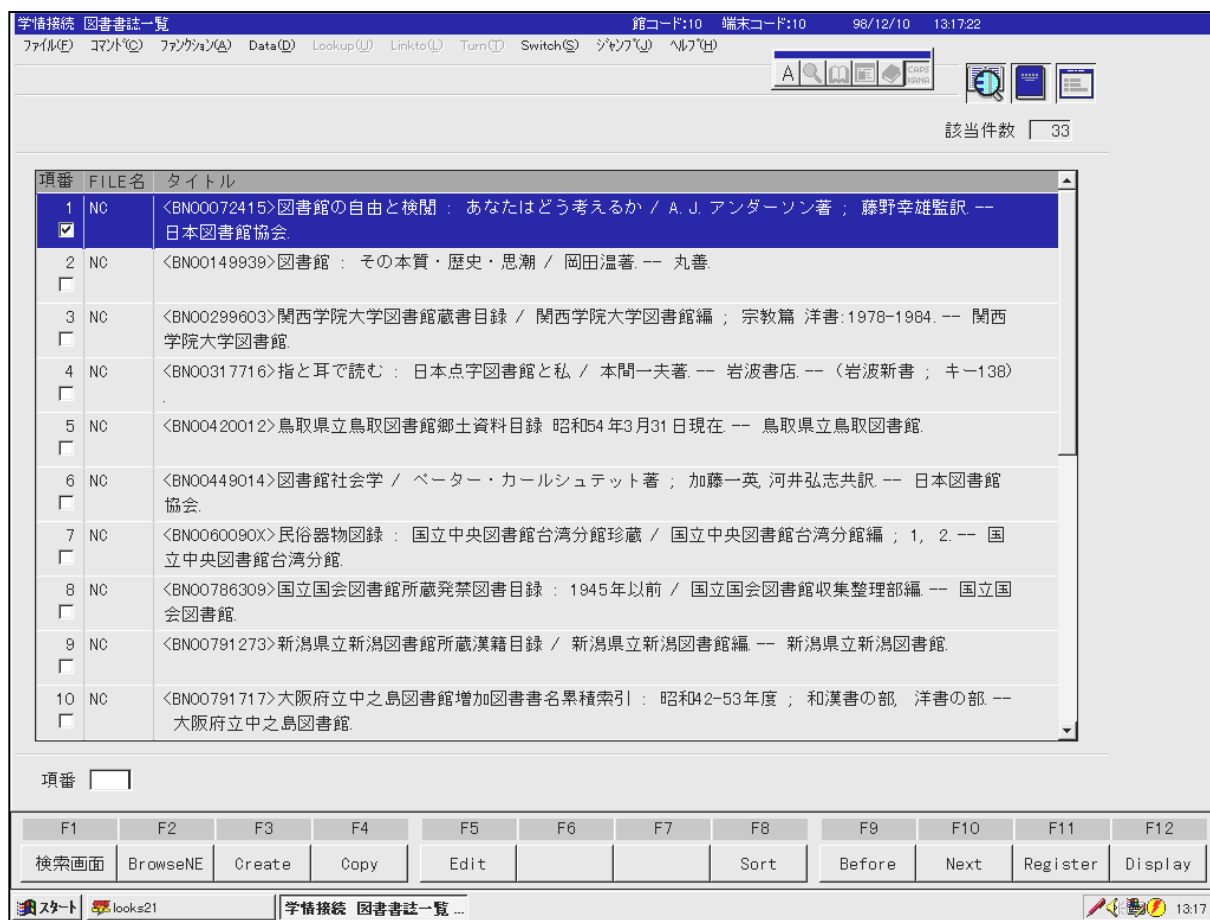
詳細表示時、編集可能時、更新レコード確認表示時の文字の色をそれぞれ変えて表示する。

《注意事項》

- 各クライアントは、新システムクライアントの特徴である図書館システムとの連携機能を持ちますが、各図書館の仕様に応じて変更が加えられることがありますので、本連載では扱いません。
- 検索項目、レコード表示仕様、検索対象ファイル等については、各利用者が設定できる場合が多いようですので、この部分についても言及していません。
- 紹介するクライアントは、変更が加えられる場合もありますので、最新の情報については、各メーカーにお問い合わせください。

2 . LOOKS21

- (1) クライアント名称：LOOKS21
- (2) 開発：(株)日立製作所
- (3) クライアントの種類：総合クライアント
- (4) 動作環境：Windows95
- (5) 運用開始：平成 10 年 5 月
- (6) 利用図書館（業務利用を開始している館）：東京工業大学，愛知大学ほか
- (7) 画面例（CAT）：



- (8) 特徴（CAT）：
 現行の XUIP の画面イメージ，画面遷移を踏襲している。
 コマンドも現行の CAT に準拠しており，ファンクションキーでの操作を基本に想定している。プルダウンメニューからも選択できる。
 書誌詳細表示では，コードブロックと記述ブロックを分けて表示する。
 編集は，フィールド毎に別ウィンドウを開いて行う。

(9) 画面例 (ILL):

(10) 特徴 (ILL):

画面毎に、その業務にあったボタン（ファンクションキー）が用意されている。CATでは、ほとんど現行のCATの画面イメージを踏襲しているが、ILLでは、LOOKS21独自の、関連フィールドをまとめた画面設計としている。

各メーカーの新システム対応クライアントの開発状況及び問い合わせ先は、以下のURLに常時掲載していますので、参考にしてください。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/ncat-maker.html>

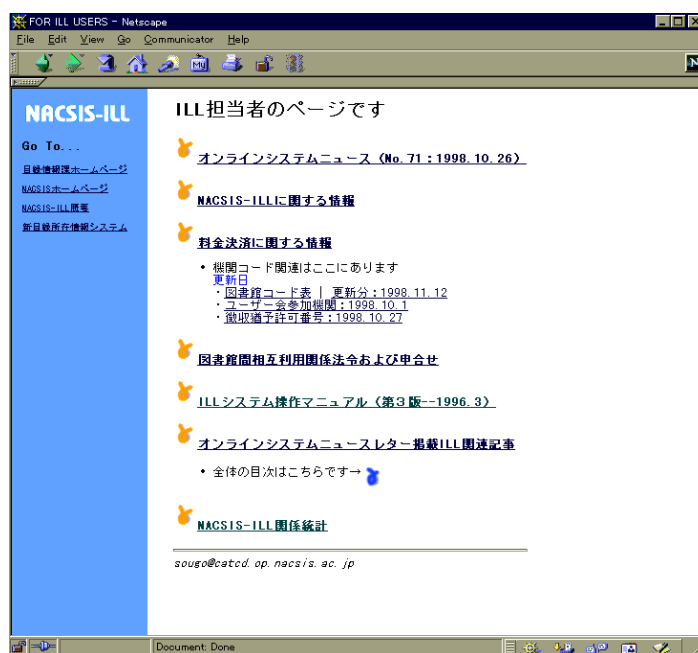
(図書目録情報係)

目録所在情報サービスホームページ紹介(その2)

ILL 担当者のページ

目録所在情報サービスホームページ(<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>)紹介の第2回目では、「ILL 担当者のページ」(画面1)を紹介します。

URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/ILL/ill-user.html>



画面1 ILL 担当者のページ

これは主に、NACSIS-ILL を利用している ILL 担当者を対象としたページです。料金決済に関する情報や関係法令など、NACSIS-ILL だけでなく相互貸借業務一般に関する事項も掲載していますので、参考にしてください。

各項目の内容を簡単に紹介します。

◆ オンラインシステムニュース

NACSIS-ILL のオンラインシステムニュースと同じ内容のニュースを掲載しています。

新 ILL システム自体には、オンラインニュース機能がありません。新 ILL クライアントを利用している場合は、ブラウザ等でこのページを参照するようにしてください。

◆ NACSIS-ILL に関する情報

知っているようで知らないNACSIS-ILLの機能や仕組みについての情報を掲載しています。

(1) 外部依頼 (BLDSC/NDL)

「外部依頼 (BLDSC/NDL)」のページでは、実際に利用していてもなかなか理解しにくい外部依頼の仕組みについて、図と共に解説しています。外部依頼時に特に気をつけていただきたい事項について、マニュアルを補足しています。「オンライン・システムニュースレター」、「ILL システム操作マニュアル」の該当部分へのリンクも、豊富に設けています。

(2) NACSIS-IR からのリクエスト機能

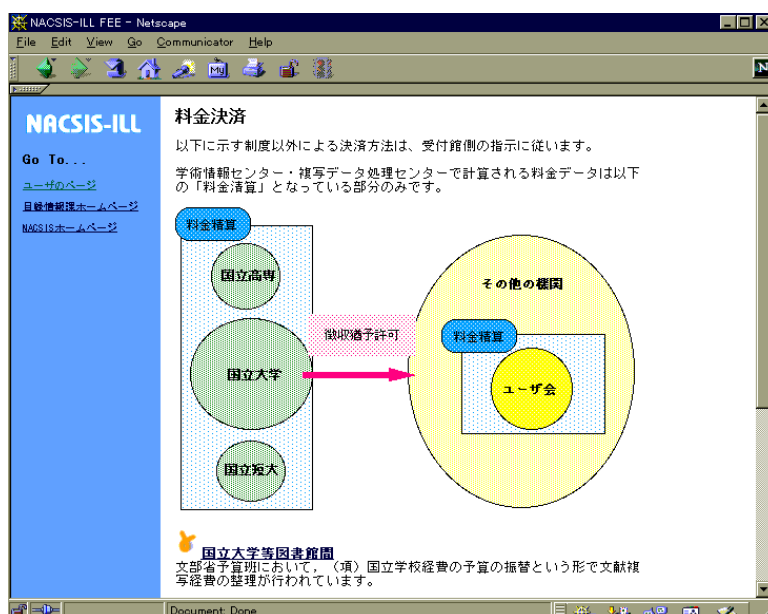
リクエスト機能を利用すれば、NACSIS-IR ユーザー(研究者や部局図書館員)は、NACSIS-IR 上で検索した結果を利用して、オンラインで所属の図書館に文献複写・現物貸借を申し込むことができます。このページからも、「ILL システム操作マニュアル」の該当ページが参照できます。

(3) カレントファイルとバックファイル

ILL データベースでは、半年毎に古くなったレコードを、カレントファイルから別ファイル(バックファイル)に移しています。ここでは、現在のカレントファイル及びバックファイルの収録レコード状況が確認できます。

(4) NACSIS-ILL システム関連データベース定義表

「ILL フィールド定義一覧」及び「参加組織ファイルフィールド定義一覧」を掲載しています。各フィールドの内容やデータ長、最大繰り返し数などを確認できます。



画面 2 料金決済に関する情報

◆ 料金決済に関する情報 (画面 2)

「国立大学等図書館間文献複写経費の整理」、「文献複写・現物貸借料金相殺のための NACSIS-ILL ユーザー会」、「徴収猶予」など、ILL 利用料金決済全般に関するページです

「国立大学等図書館間」のリンクからは、国立大学等図書館間で行われる「国立大学等図書館間文献複写経費の整理」について詳しい情報が参照できます。

また、国立大学等図書館以外の NACSIS-ILL 利用図書館間で料金を相殺するためのユーザー会もあります。詳しくは、「文献複写・現物貸借料金相殺のための NACSIS-ILL ユーザー会」のページをご覧ください。

更に、徴収猶予制度についての情報は、「徴収猶予」のリンクからたどることができます。徴収猶予許可番号の検索ページもあります。

◆ 図書館間相互利用関係法令および申合せ

図書館間の相互利用に関する法令や申合わせの全文を、このページから参照することができます。

◆ ILL システム操作マニュアル第 3 版

冊子体で配布している「ILL システム操作マニュアル第 3 版」を、電子情報化し掲載しています。分厚いマニュアルを開かなくても、WWW 上で必要箇所を参照することができ、便利です。

◆ オンライン・システムニュースレター掲載 ILL 関連記事

現在までに発行されたオンライン・システムニュースレターの中から、NACSIS-ILL に関する記事だけを抜粋しています。タイトル中のキーワードによって検索できます。

また、NACSIS-ILL 以外の記事を参照するために、オンライン・システムニュースレター全体の目次へのリンクもあります。

◆ NACSIS-ILL 関係統計

NACSIS-ILL に関する様々な統計を掲載しています。

「NACSIS-ILL 利用機関一覧」は、NACSIS-ILL の利用実績がある機関の一覧を示しています。

「流動統計」では、機関種別毎の依頼・受付状況をクロス集計しています。文献複写・現物貸借の機関種別間での流れを一覧するのに便利です。

「依頼・受付件数一覧」では、各年度毎の全参加館の依頼・受付状況を処理件数順に一覧表示しています。これにより、自館の依頼・受付状況を相対的に把握することができます。この一覧からは、どの図書館に受付業務が集中しているかが一目でわかりますので、依頼時にはできるだけこれらの特定の図書館への依頼を避け、依頼先を分散させる等の工夫をお願いします。

その他、本誌でも紹介している各種 ILL 利用統計を掲載しています。

今回は、「新目録所在情報システム」のページを紹介します。

(相互協力係)

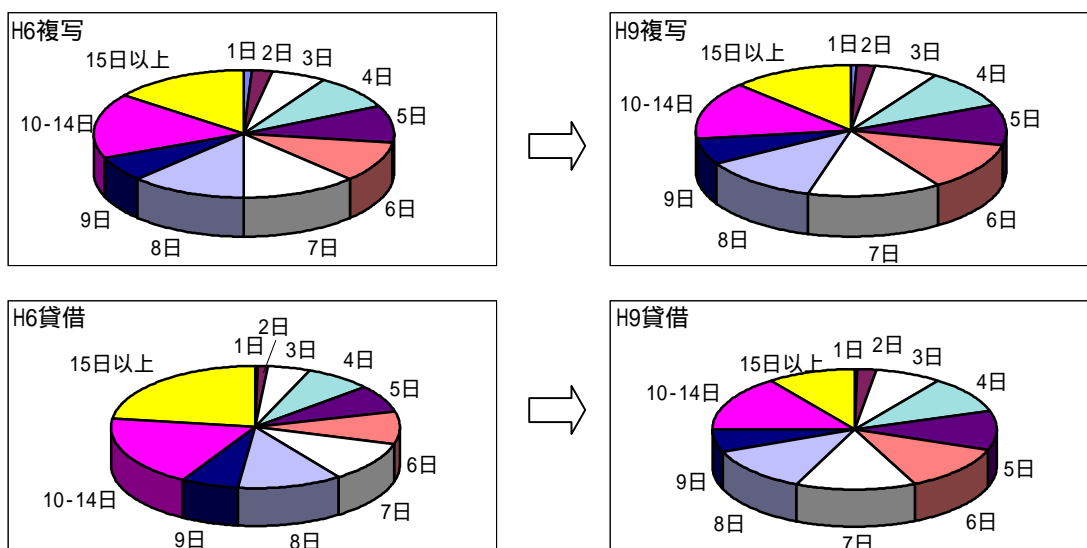
NACSIS-ILL 利用統計 (その2)

NACSIS-ILL に現れる処理日数について、平成6年度と平成9年度を比較しました。

1. 到着までの日数

依頼日 (ODATE) から到着日 (RDATE) までの日数をグラフにしました。特に、現物貸借の到着までの日数が短縮されていることが確認できます。

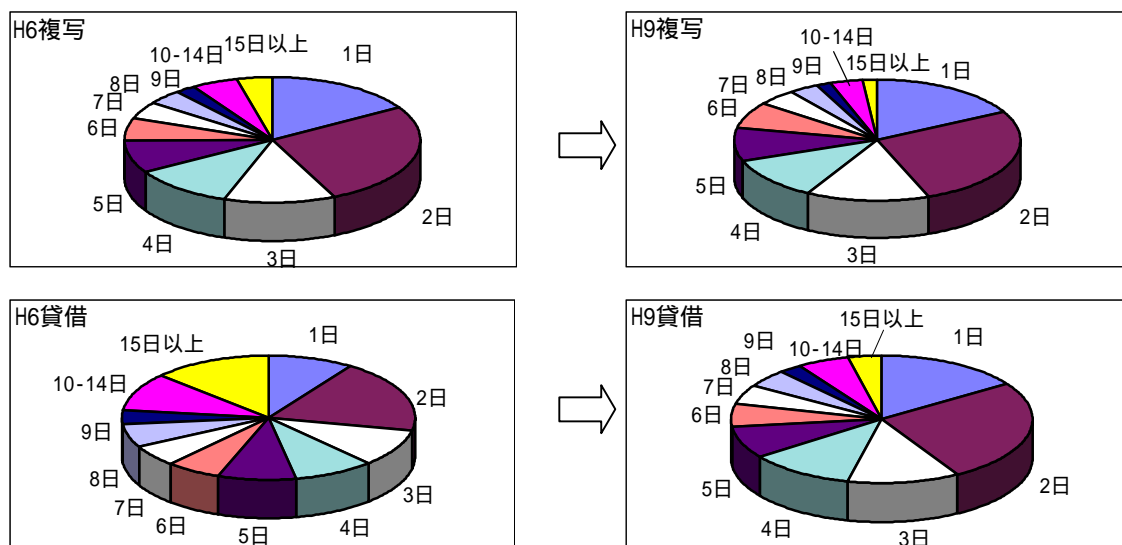
(URL: <http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/ILL/days.html>)



2. 発送までの日数

1 の変化を詳しく見るため、今度は依頼日 (ODATE) から発送日 (SDATE) までをグラフにしてみました。やはり受付館での現物貸借の処理に、大幅な改善があったことがわかります。また、複写・貸借共に3日以内で処理されているものが過半数を占めるようになりました。

ところが、現物の送付に日数がかかるため、到着は7日以内で過半数となります。今後、送付日数の短縮には、画像電送システムや宅配便等の物品流通システムの利用が期待されます。



(相互協力係)

複写データ処理センター業務報告（平成 10 年度上半期）

「国立大学等図書館間相互における文献複写業務の改善について」（文学情第 317 号 昭和 53 年 12 月 19 日）及びその実施要項に基づき、文献複写経費のデータ処理を平成 10 年 9 月に行いました。

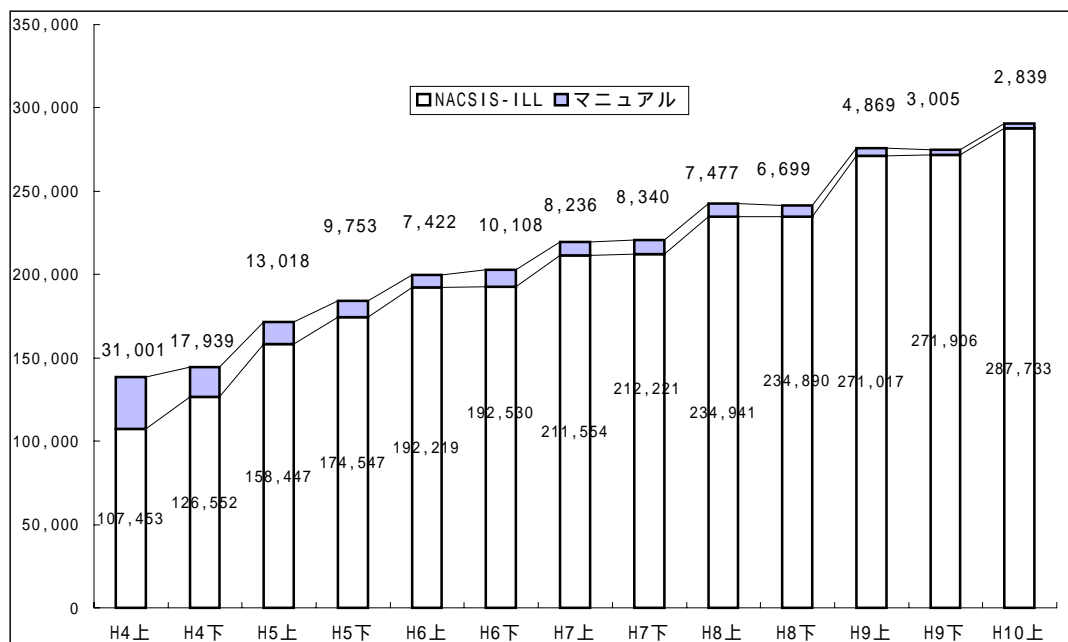
今期は、マニュアル処理の割合はさらに減少しましたが、件数そのものの大幅な減少はありませんでした。今後も NACSIS-ILL の普及に努めますので、各図書館の相互貸借業務も、マニュアル処理から NACSIS-ILL 処理へ移行していただきますようよろしくお願い申し上げます。

単位：件

平成 10 年度上半期		マニュアル（依頼書）	NACSIS-ILL	合計
		2,839	287,733	290,572
内訳	大学	956	283,607	284,563
	短期大学	3	353	356
	高等専門学校	1,880	3,773	5,653

マニュアル依頼処理が NACSIS-ILL 依頼処理を上回る機関・参加組織数

	機関	参加組織
大学	0	14
短期大学	0	-
高等専門学校	21	-



処理件数の推移

(相互協力係)

コーディングマニュアル第 6 章，第 12 章の刊行

コーディングマニュアル未刊行部分のうち、「第 6 章 和雑誌書誌レコード」，「第 12 章 著者名典拠レコード（日本名以外：団体名）」を本号付録として刊行します。今回の 2 章は，平成 9 年度以来総合目録小委員会で検討・作成してきたものです。

1. 第 6 章 和雑誌書誌レコード

今回の刊行は，和雑誌書誌レコードの記述ブロックの部分が中心となります。コードブロックと変遷ブロックについては，第 6 章の該当部分が既に刊行されています。「第 7 章 洋雑誌書誌レコード」と同様に，以下のような点に配慮して作成しています。

- (1) 準拠している日本目録規則（NCR）1987 年版改訂版を参照しなくとも，規定の内容が分かるような記述とした。
- (2) NACSIS 独自の規定については，それを明示した。
- (3) 実データの事例を，できるだけ数多く示すようにした。

平成 11 年度から実施予定の，学術雑誌総合目録和文編全国調査での書誌データ作成時には，このコーディングマニュアルを活用してください。

なお，和雑誌のタイトル変遷に関する「6.0.1 タイトル変遷」については検討中ですので，今回の刊行部分には含まれていません。

2. 第 12 章 著者名典拠レコード（日本名以外：団体名）

日本名以外の著者名典拠レコードについては，今回が初めての刊行となります。日本名以外の団体名とは，「目録情報の基準 第 3 版 8.3.2 統一標目形の形」で規定している，「AACR2 を適用する団体名」を指します。

AACR2 第 24 章に詳細な規定と例示があるため，このコーディングマニュアルでは全般的な規定だけを行っています。なお，以下の点に注意してください。

- (1) 統一標目形の記述は AACR2 に準拠し，LC が採用する翻字形によりローマ字化します。よって，キリル文字による記述は行いません。（12.2.1D1.3）
- (2) PLACE の表記は，記述情報源にあるもののうち，統一標目形と合致した言語での慣用形とします。英語形とは限りません。（12.3.3D）

総合目録小委員会では，コーディングマニュアル未刊行部分の整備作業を継続して行い，順次刊行する予定です。

（図書目録情報係）

会議開催報告

平成 10 年度第 1 回 総合目録委員会

[日時]

平成 10 年 10 月 29 日 (木) 10:00 ~ 12:00

[議事]

1. コーディングマニュアル(案) 和雑誌書誌レコード
2. コーディングマニュアル(案) 著者名典拠レコード(日本名以外:団体)
3. 目録システムにおける中国語資料の取扱いについて(案)
4. 学術雑誌総合目録の刊行形態について
5. 総合目録小委員会の設置について
6. その他

今回は、総合目録小委員会で作成した「コーディングマニュアル(案)」についての審議を行い、原案どおり承認した。また、「目録システムにおける中国語資料の取扱いについて(案)」を承認し、公開して意見を集約することとした。(本号付録として掲載)

また、学術雑誌総合目録の刊行形態について、今回は CD-ROM 版と冊子体の刊行を行うこと及び印刷項目、レイアウトの見直しを行うことを承認した。なお、冊子体の刊行は今回を最後とするべきであるとの意見が数多く出された。

また、総合目録小委員会の設置を承認し、2 年任期で委員を選出することとした。

平成 10 年度第 2 回 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会

[日時]

平成 10 年 11 月 4 日 (水) 15:00 ~ 17:30

[議事]

1. 電子図書館的機能に関わる事業の役割分担について
2. 国際的な情報アクセスに関する大学図書館と学術情報センターとの役割分担及び連携について
3. 将来的な図書館業務システム構築について
4. 学術雑誌総合目録の刊行形態について
5. 今後の研修の在り方について
6. その他

(図書目録情報係)